

取手一高バドミントン部活動報告

西武台千葉高校主催の

ソイタウンバドミントンキャンプに参加してきました！

日程 12月7日(土)

・午前中は「バドミントンを通じた国際貢献・途上国援助」について白井巧先生より講義，グループワークに参加，午後は西武台千葉高校主催のトレーニングを行いました。



参加した生徒の感想

・先生のお話は笑いの絶えないものでしたが、特に私が印象に残っていることが2つあります。1つは「respect」、プレーをする他者を尊敬することです。もう1つは「最終的にはスポーツを通して幸せになれるだろう(最終的に青年海外協力隊はどこに向かっているのか)」ということです。私も現在けがをしていてバドミントンが満足にできていません。それが本当に辛く、普通にスポーツができることは本当に幸せなんだと怪我を負ってから気付くことができました。イメージで世界を想像するのではなく、現場を見てきた人の話と実際に体験することはとても大切だということを痛感しました。

・講演会で話を聞いて世界中にバドミントンを楽しんでやっている人がたくさんいることを知りました。最初、途上国はスポーツなどできない環境ではないかというイメージがありました。ですが、白井さんの話を聞くと最後には途上国でのバドミントンも楽しそうだという思いになっていました。白井さんが青年海外協力隊として訪れたシリアでバドミントンを教えた子のインタビューを聞き、相手を尊敬することが良いプレーに繋がり、人生の幸せに通ずるということを聞いて感動しました。

・強化レッスンでは初めてやるノックがたくさんありました。西武台千葉高校の部員の皆さんがノックのお手本をしてくれた時に打つ音が自分と全く違い驚きました。いざ自分で打ってみると中々上手いかず、ノックの難しさと大切さを改めて感じました。ダブルスの足の動き、タッチの速さ、リズムを丁寧に教えてくれてとても分かりやすかったです。この西武台千葉高校のノックメニューを持ち帰り、自分のためになるように練習したいです。